



な23日、倉吉市日本海新聞社中
え=1丁目を交え、市上井新
出する市上井新
思い、倉吉市日本海新聞社中
の講演、倉吉市日本海新聞社中
倉吉が、日、目、部

50年振り返り 発展を願う

11. 24 厚生病院記念式典

鳥取県立厚生病院
倉吉市東昭和町、井
藤久雄院長）の創立50
周年記念式典が23日、
同市上井町1丁目の新

日本海新聞社中部本社
ホールで開かれた。医
療や行政の関係者ら約
150人が出席し、県
中部の医療の中核を担

う同病院のさらなる発
展を願った。

同病院は1963
年、厚生農協連から県
に移管され開設。現在
は20診療科の体制で高
度医療、救急医療など
を住民に提供してい
る。

式典では、病院開設
者の平井伸治県知事が
「厚生病院が公立化さ
れてはや半世紀。ここ
で50年の歴史を振り返

りながらこれからの中
部や鳥取県の医療を考
える再スタートの日に
なればありがたい」と
あいさつ。井藤院長は
「地域の医療機関の支
援をいただきながら、
これからも県民の生命
と健康を守る重責を担
いたい」と述べた。

また、中原中也賞を
受けた詩人で、倉吉市
で幼稚園から高校まで
を過ごした群馬病院医
師の宋敏鎬氏が「詩人
と医師という異境を行
き来しつつ―詩と医学
との対話」を演題に記
念講演を行った。